

総合防災マップの使い方

- 見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。
- 表示してある危険箇所は、土砂災害や浸水被害が発生する可能性がある場所です。自宅周辺の危険箇所を確認しましょう。
- 避難する場合に備え、最寄りの指定避難所や親戚・知人の家などの避難する場所を事前に確認しましょう。

ステップ
1

自宅周辺の「危険箇所」を確認しましょう。

自宅周辺に浸水想定区域や土砂災害区域があるか確認しましょう

- ▶14～29ページ 洪水・土砂・ため池ハザードマップ
- ▶30～31ページ 高潮・津波ハザードマップ
- ▶32ページ 地震ハザードマップ



ステップ
2

自宅周辺の「最寄りの避難所」を確認しましょう。

避難所一覧から確認しましょう

- ▶裏表紙 避難所一覧情報
- ▶ハザードマップから確認しましょう
- ▶14～29ページ 洪水・土砂・ため池ハザードマップ



ステップ
3

非常用持ち出し品を確認しましょう。

非常用持ち出し品・備蓄品を確認しましょう

- ※家族構成で持ち出し品は変わります
- ▶3ページ 非常用持ち出し品・備蓄品の準備&チェック



ステップ
4

防災情報を確認しましょう。

役場や各関連省庁が発信する正確な情報を確認しましょう

- ▶4ページ 情報収集



オリジナルマップの作成

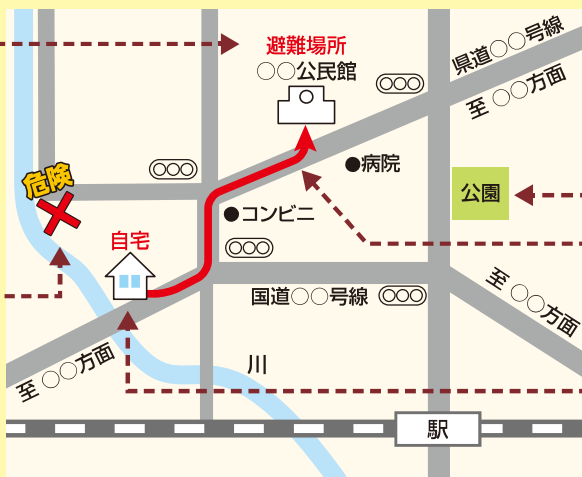
家族で話し合ったことなどもふまえ、自宅から指定避難所や親戚・知人の家などの避難場所までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家族で共有しましょう。

● 避難場所

災害が起きたときの避難場所をチェックしましょう。

● 危険な場所

川の近くなど、洪水時に危険となるような場所には印をつけておいて、その道は通らないようにしましょう。



● 目印となる場所

避難経路上で目印となる場所を書き込みましょう。特に曲がり角には分かりやすい目印を書き込みましょう。

● 避難経路

避難場所までの経路を書き込みましょう。

● 自宅

あなたの自宅を書き込みましょう。